

人を育てる支援



巣立ちを迎える子どもたち

学校図書館活用教育研修会

担当課 学校教育課

平成27年12月9日(水)の午後、出雲市役所くにびき大ホールにて開催し、市内の小中学校図書館担当教員や学校司書などが参加しました。

佐香小学校の吉廣恭由子教諭から「図書を活用して効果的な学習指導を行うために」と題した「図書を活用した授業の方法」の研修内容でした。学校図書館を活用した学習の実施を試みたくなる機会となった研修会でした。

概要は下記のとおりです。

- 学校図書館活用教育を進めるためには、教職員でいくつかの課題の中から焦点化し、共通のイメージを持ちながら進めると効果が高い。
- 図書館を活用した授業で大事なポイントは、
 - ①単元構想の工夫
 - ②効果的な並行読書
 - ③明確なねらいのある授業
 - ④課題の共有化で学び合いのある授業をする。
 多くの実践の映像と説明、学習指導案・図書館活用教育単元表などの資料もあり、これを元にしてまずは実施してみることを認識できた研修でした。



読書ヘルパー研修から

*** 学校図書館関係者の研修はカリキュラムにより実施しています ***

基本研修

平成27年5月14日(水)及び16日(金)

調べ学習のナビといわれる「パスファインダー」の作成についてワークをしながら研修を実施しました。一度作っておくと役立つ!と実感できますので学校内でも話題にしてもらえると良いです。



資料整備研修

平成27年7月23日(水)

資料整備のまとめとして、簡単な本をつくってみることで、本の仕組みを理解して、修理の技術に役立てるため実施しました。実際、本の仕組みがわかる貴重な学習の場となりました。(自分で本がくれたのも良かったです)



完成本

資料整備の研修は大人数では開催できないのですが、今後も技術向上のための研修の実施をしていきます。



切ったり、折ったり、貼りつけしたり・・・

読書活動研修

平成27年12月11日(金)

子どもと本を結ぶことについて、昨年に引き続き、宇田祥子さんのブックトークとストーリーテリングを聞き、子どもと本の幸せな出会いやお話を聞いて想像を楽しむことの大切さについて教えていただきました。



子ども読書活動支援専門ボランティア(おはなしゆうびんやさん)養成講座(連続講座)

ブックトークやストーリーテリングを行う専門ボランティアの養成講座を毎年実施しています。

今年度は、初心者を中心にした講座をしました。

現在、この講座をうけて、登録されている方は42名です。

今後も養成講座を継続実施して人材の育成に努めていきます。

* 過去の講座の課題図書をHPで紹介しています

出雲市立図書館HPの **おすすめ本・展示** の

子ども読書推進係 学校図書館支援センター に掲載しています。

* 子ども読書活動支援事業(ゆうびんやさん)実施件数(平成28年2月末まで)

ストーリーテリング実施件数 244 件

ブックトーク実施件数 65 件

多くの学校で活用
いただきました

* 講師のレジメから *

子ども時代はどの子ども幸せでなくてはなりません。

本は子どもを幸せにするひとつの手立てなのです。アイリーン・コルウェル

「子どもと本」松岡享子著(岩波書店)より



学校図書館関係図書・雑誌

学校図書館関係者へ貸し出します

📖 「学校司書・司書教諭・図書館担当者のための学校図書館スタートガイド」

→何をどうしていいか解らない!!と悩む方へ、読んで前進してみよう!

📖 「司書教諭・学校司書のための学校図書館必携 理論と実践」→新しく学校図書館担当になった方へおすすめ

📖 雑誌「学校図書館」バックナンバー(平成25年4月号以降)

→リアルタイムの学校図書館の状況や記事が掲載されています。ほかにもあります

あとがき

新しい年を迎えたと思ったら、暦はもう3月半ば。あっという間に新学期が近づきました。毎年のことながら、「学校図書館支援センターとしてこの1年何か役に立てたかな?」と振り返りが多い季節です。

今年度は、3人体制となり、学校図書館サポート訪問や資料の相談、学校図書館関係職員の研修をなんとかこなしてきました。

本当は支援というより、学校図書館に関わる方たちと協働できるセンターになりたいと思っています。

どうぞ、来年度もよろしく願います。

